

## 地域のつながり

一新会自治会 会長 山崎岩男

一新会自治会は会員の世帯数683世帯で班数43班あり、自治会運営する構成員は役員と班長に



地域交流のひとつ

より構成されている。一新会の地域内にある公共施設は、下新倉児童センター、防災倉庫及び会議室、焼却場、下新倉みどり保育園、和光高校、和光病院、和光ホーム等である。また、交通手段として東武バス北口循環と東武バス和光成増循環市内循環バスが利用されている。

る。

一新会の事業の一つに資源回収事業があり、毎月二回実施している。これは資源の有効利用と自然環境保護を求める社会的な流れの中、これに賛同する一新会自治会はじめ友の会、婦人会、育成会による協力の下で活動が継続されてきたものである。またこの事業収入は自治会、友の会、婦人会、育成会の活動資金の一部として有効に活用されている。この他にも多様な事業を展開している。

継続実施している。一新会自治会の主催で友の会・婦人会・育成会が協力し地域防災訓練を毎年実施しており、そのアトラクションでは大和中学校吹奏楽部の協力で演奏会が開催されている。地域夜間パトロールは自治会の役員(部長以上)が防犯対策の一貫として定期的に巡回している。一方、社協の協力支援を受けて展開されている小地域福祉活動は、活動の場を下新倉児童センターに置き、一新会、協和会、吹上睦会や各種団体代表者で『グリーンすまいる』を結成し、三年を迎えて

いる。活動を振り返ると、「あつたかふれあいお届け弁当」、「ふれあいフェスタ」、「支え合いマップづくりセミナー」など地域住民の世代を超えた交流活動が実践されている。その他、ごみゼロ運動、防犯ネット参加、消防の出初式、白子小桜まつり、市民体育祭参加など、近隣地域との協力関係を築き地域のつながりを深めている。このつながりは人と人を支える絆であり、地域づくりの礎でもある。まとめの言葉として、会員皆様はじめご支援を頂いております関係機関の方々に御礼申し上げます。